

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業コンセプト

自然の力とおいしさで、食の幸せと健康をサポートする企業を目指す

売上高
155億円営業利益
4億円経常利益
10億円親会社株主帰属当期純
20億円

2 中長期の経営戦略

1. 国内戦略

リーディングカンパニーの地位確立。グループ各社ブランドの特性を活かした商品拡充と家庭用市場シェア拡大。TATEBAYASHIクリエイションセンターで業務用ニーズに対応。

3. VC戦略

サステナブルバリューチェーンの実現。TATEBAYASHIクリエイションセンターの生産性向上を最重要課題。DXとAI導入、専門人財育成で生産性大幅向上。

2. 海外戦略

長期を見据えた海外進出モデル確立。ベトナムを中心とするアジア地域の消費者ニーズに応える事業モデル実現に向けアライアンス先探索を加速。

4. 事業領域拡張

ソース事業をたれ・ドレッシング類まで広げ、原材料の香辛料・酢を活かした事業や外食店など新領域に進出。

3 対処すべき課題

① 消費者ニーズへの対応

- ・ 消費者の節約志向と価値志向の二極化に対応した商品拡充
- ・ 東西グループ各社ブランドの特性を活かした商品戦略
- ・ ベトナム中心アジア地域の消費者ニーズ把握と事業化

② 生産・業務効率化

- ・ TATEBAYASHIクリエイションセンターの生産対応力強化
- ・ DX推進とAI導入による販売・管理業務改革
- ・ 設備改良による生産性向上

③ 人材育成と組織構築

- ・ 専門人財の育成と確保
- ・ 社員ひとりひとりが活躍できる環境づくり

面接で使えるポイント

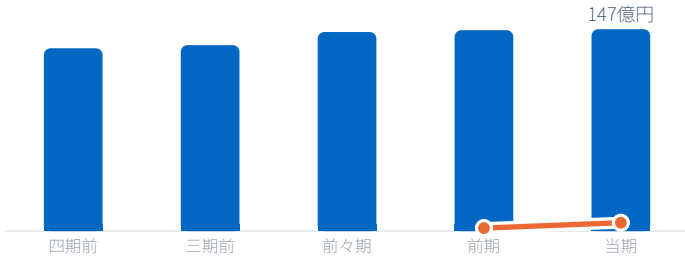
- ・ 「食の幸せのとなりに」というスローガンのもと、2032年度のビジョンで世界ブランド化を目指すソース事業に携わる
- ・ TATEBAYASHIクリエイションセンターなど新設備の生産性向上に貢献し、2025年度売上高155億円達成を支援
- ・ ベトナムを中心とするアジア海外進出とDX・AI導入による組織変革を実現する職場での成長機会

ブルドックスソース株式会社

食料品 | プライム（内国株式） | 決算期 3月31日 | 連結…

証券コード 2804

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
147億円

営業利益率
4.2%

財務健康度
36点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 41.3（当サイト算出の参考指標）

平均年収
570万円

食料品内 86位/120社

平均年齢
43.7歳

食料品内 24位/121社

平均勤続
17.1年

食料品内 28位/121社

女性管理職
22.0%

食料品内 12位/106社

男性育休
100.0%

食料品内 28位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

要するに

ソース類及びその他調味料の製造・販売を主力事業とする食品企業

主力事業・セグメント

- ・食料品（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- ・将来性評価は晴れ時々曇り
- ・平均勤続17.1年と定着率が高い
- ・東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ブルドックスソース[2804]: 執行役員及び重要使用人の異動に

ブルドックスソース株式会社 企業研究シート

出典: 企業スコープ (kigyو-scope.jp) / 金融庁EDINET 有価証券報告書

将来性・就活偏差値・財務健康度は当サイト算出の参考指標です。

投資・就職の判断は必ず一次情報をご確認ください。 作成日 2026-08-05

